

📌 第2回定例会は6月8日（金）から

今回の第2回定例会は平成30年6月8日（金）午前10時より開催される予定です。是非、議場にお越しいただき、市議会を身近に感じていただければ幸いです。

傍聴の際、手話通訳を希望される方は、傍聴を希望する2日前までにお申し込みを。車いす用の席もございます。

【府中市議会インターネット中継】

<http://www.fuchu-city.stream.jfit.co.jp>

本会議や一般質問などを生中継でご覧いただけます。スマートフォンやタブレットではご利用いただけません。

【第2回定例会（予定）】

- 6月 8日（金）本会議（委員会付託）
- 11日（月）本会議（一般質問）
- 12日（火）本会議（一般質問）
- 18日（月）建設環境常任委員会
- 20日（水）新しい特別委員会の予定
- 25日（木）本会議（最終日）

※上記は2018年3月15日現在の予定です。実際の日程が変動する場合がございます。

【府中市議会の問合せ先】

☎042-335-4507（議事係）

📌 市政に関するご相談は稲津けんご事務所へ

市政に関する相談をお受けします。

お気軽にご連絡ください。

【稲津けんご事務所】

東京都府中市北山町 2-26-15

電話：(042)806-9777

ファックス：(042)806-9770

メール：inazu.kengo@gmail.com

ホームページ：https://inaken.gr.jp

※現在は平日 9-17 時に営業していますが、議会中などにより臨時休業となる場合がございます。



府中リベラル 市政レポート

府中市議会議員

稲津けんご

〒183-8703 東京都府中市宮西町 2-24
【Eメール】inazu.kengo@gmail.com
【編集・発行】府中市議会 府中リベラル



～誰も見捨てない地域社会に～

平成30年2月19日～3月15日開催

第1回定例会 徹底総括!! 2018年4月号

📌 「誰も見捨てない地域社会」をつくろう

今年行なわれた第1回府中市議会定例会は2月19日から3月15日までの25日間開催されました。

一般質問では「地域福祉の充実と『わがまち支え合い協議会』の今後について」と題し、質疑応答を行いました。また府中市の平成30年度一般会計予算955億9千万円や市長提出議案38件、市民からの陳情2件を市議会で議決しました。

主な事案については中面の記事をご覧ください。



【第1回定例会 主な活動】

2月

- 19日（月）本会議（議案の委員会付託等）
- 20日（火）・21日（水）本会議（一般質問）
・稲津氏は21日（水）に登壇
- 27日（火）建設環境常任委員会
- 28日（水）議会運営委員会

3月

- 1日（木）再開発対策特別委員会
 - 7日（水）～13日（火）予算特別委員会
 - 15日（木）本会議（委員会審査報告等）
- ※稲津氏が所属していない委員会には全てオブザーバー（傍聴人）として参加。

📌 府中リベラル 予算要望の成果を公表

稲津けんごが代表を務める府中リベラルは、市民のから寄せられた声やご意見等を基に府中市に対して要望活動を行なっています。

府中市の平成30年度予算に向けて、議会や福祉、防災、教育、まちづくり、交通等59項目に渡る案件について予算要望を平成29年10月に行いました。その結果、右記の14項目の案件が予算化されました。予算化率は23.7%です。

予算に反映されていない案件については、今後も結果を出すよう引き続き取り組んで参ります。皆様からの市政に対する声をお寄せください。

1	市議会のインターネット配信をスマートフォンやタブレットでも閲覧できる体制
2	ちゅうバスにSuicaやPasmoの利用可の実現
3	精神障がい者家族会活動における相談・交流場所の確保に対する予算の確保
4	大人の引きこもりに対する訪問支援の実施
5	障がい児が放課後に活動できる場の増設確保
6	待機児童数の削減
7	学童クラブの育成面積の拡充
8	農業公園の開設
9	防災都市づくりの市内モデル事業実施
10	老朽化した道路や橋、下水道などのインフラ整備
11	西原町・北山町地区のまちづくり協議会の設置
12	自転車道の設置促進
13	義務教育機関における精神障がいや精神疾患への理解を促す啓発教育
14	市内公立小中学校施設の建て替え計画の策定



いなづ 稲津けんご

【プロフィール】

1968年北山町生まれ
（現在は西原町在住）

府中七小、和光中、都立狛江高校卒業
1992 米国南アラバマ大学学士号取得
1998 米ピッツバーグ大学院修士号取得
1999 府中市議会議員初当選（3期12年）
2015 府中市議会議員 4期目当選
現在、市議会「府中リベラル」の代表。
所属委員会は、議会運営委員会、建設環境常任委員会、再開発対策特別委員会。

【編集後記】

国会では公文書の改ざん問題が大きく取り上げられ、世論意識の高まりと政治に対する不信感が募っています。

府中市は平成13年4月1日に「府中市文書管理規則」が施行されていますが、「規則」となっており、「条例」ではありません。公文書は市民の財産でもあり、単なる行政の内部規律として運用するには通用しなくなってきました。

これからの開かれた市民協働の市政を行う上で、府中市の公文書管理の条例化は必須だと思いますがいかがでしょうか。

一般質問 「わがまち支え合い協議会」活動を広めよう

稲津：府中市では、多様化する福祉の課題に、地域で取り組み解決できる仕組みとして、府中市社会福祉協議会が中心となった「わがまち支えあい協議会（以下：協議会）」を平成27年から設け、市内全域で課題解決に向けて取り組んでいる。しかし平成29年の市政世論調査の結果、協議会を知らない市民の割合が77%となった。市の対策を聞きたい。



記事の掲載を検討している。
稲津：地域が自立してこの協議会を運営していくには、人材と財源の確保が必要である。予算措置を継続し、拡充する考えは？

部長：地域福祉コーディネーターは、平成32(2020)年度までに6名を配置予定。また、協議会や相談員が含まれる地域福祉事業に対しても引き続き支援する。

稲津：「誰も見捨てない地域社会」に向けて、市民・行政・民間の垣根を超え、多様性を認め合い、困った時に寄り添い、「お互い様に支え合う社会」を実現するために、市として全力で協議会への取り組みを支援するよう強く求める。

部長：認知度向上の対策として、引き続き周知活動に努める。また、協議会と地域福祉コーディネーターの意義や仕組みを分かりやすくまとめたパンフレットの作成や『広報ふちゅう』への特集

委員会審議 より良い条例に向けて提出した修正案が否決

2月27日(火)開催の建設環境委員会では、第18号議案「府中市立府中の森市民聖苑条例の一部を改正する条例」に対し、杉村委員と共同で修正案を提出しました。

市長の提案は、これまで「1回100円」としていた市民聖苑の地下駐車場料金を「1時間100円(上限300円)」に改定するという内容でした。

この件については、同8日開催の建設環境委員協議会でも市側から説明がありました。各委員からは「喪主は駐車場料金を免除しても良いのでは?」「短時間利用者は無料にしても良いのでは?」などという声が多くあがり、この時点で市側は「聞きおく」としていました。

しかし、同13日に受け取った議案書には、協議会で出された意見が全く反映されていなかったことから、委員会での修正案の提出に向けて検討しました。

委員会では、市長提案と並行して、修正案も審議されました。杉村委員は修正案の提案理由として「市議会が出た声は全く反映されていない。市民の代表でもある市議会の役割が全く果たせなくなってしまう」と述べ、修正案に賛成するよう求めました。

私も市に対し「協議会后、担当者は議員から出た意見をどのように検討してきたのか? 検討したのであれば、その結果を正副委員長に報告したのか?」と問いたしましたが、はっきりとした答弁はありませんでした。

私からも市議会と行政の合意形成の重要性を述べつつ、他の委員に修正案に賛成するよう求めましたが、「使用料免除は『規定』に盛り込めば解決できる」「公共施設の有料化自体に反対しているので修正案にも賛成できない」といった意見があり、修正案は否決されてしまいました。

本会議 公共施設の使用料見直しの概要

今回出された市長提案の大きな焦点は「受益者負担の原則」を前面に打ち出した条例改正です。対象施設は①公民館や福祉会館、児童館 ②生涯学習センター ③府中の森芸術劇場 ④郷土の森博物館 ⑤府中市立体育館 ⑥教育センター ⑦女性センター ⑧ふれあい会館 ⑨府中市美術館 ⑩保健センター ⑪市内の地域体育館 ⑫市民聖苑です。

値下げとなった施設は④郷土の森博物館(午前と全日)、⑤と⑪の内、陸上競技場や市民球場の会議室、総合体育館の第1・第2武道場や会議室、⑨の市民ギャラリーです。

その他の施設は値上げです。料金改定は平成31年1月1日からとなります。

私はある程度の「受益者負担の原則」は必要であると思います。市民税を納めている市民の中でも、施設を利用しない市民には、利用する人ばかりが得をするという不公平感があります。しかし、全ての公共施設を対象に「受益者負担」を採用すべきとは思いません。

憲法第25条には「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」とあり、府中市も当てはまります。「応能負担」の原則も同時に取り入れ、低所得者にも福利厚生を受けられるようにすることが大切です。

陳情審査 議会改革についての陳情が否決される

2月28日(水)開催の議会運営委員会では、市民から提出された「議会改革についての陳情」について審議されました。

要望事項は「市議会議員同士が議論する場を設け、その議論の様子を市民が傍聴できる形にすること」というものでした。

私は「現在、本会議や委員会の傍聴は殆どが認められているが、議員間討議を活発に行い、熟議した上で結論を出し、市民がその過程を見聞きできるように取り組むのは当然だ」として採択を主張しました。

議論の中で「議員が提案する議案は理解できるが、市長提案に対して議員感討議するのはなじまない」「委員会も含め既に公

開されているので不採択」などの意見が出されました。

委員会では賛成3名、反対6名で不採択となり、3月6日(火)の本会議でも賛成8名、反対20名で不採択となってしまいました。



予算審議 府中市内の自殺者ゼロを目指して

毎年3月は「自殺対策強化月間」です。府中市では毎年40人以上の方が自殺で亡くなっています。自殺は健康問題や経済問題など誰にでも起こりうる悩みが複雑にからみ合って発生すると言われていきます。1人の方が亡くなることで、遺された家族や友人などの人生に大きな影響を与えます。

心配なことや辛いことがあれば、1人で抱えず誰かに助けを求めることが大切です。

私は平成21年から「自殺(自死)問題」への対策に取り組んでいます。市も平成26年に『自殺対策マニュアル』を作成し、問題解決に向けて取り組んでいます。

平成30年度の予算審議に当たり、私から府中市に対し「自殺対策事業費」について質問をしました。男性は女性の2.5倍の割合で自死する傾向があり、働き盛りの20~50代に多いことを示した上で、市の取り組みを尋ねました。

府中市では「事例検討会を開催して自殺未遂の方の経験や思いを学んだり、関係機関と連絡会を開いて情報共有を図っている。働く男性への対策として、商工会議所を通じてメルマガを配信し、自殺対策を呼びかけている」との答弁がありました。「誰も見捨てない社会」に向け、一層の取り組みを求めました。



0570-064-556 <http://shienjoho.go.jp/>
0120-279-338 03-3868-3811

3月は、自殺対策強化月間です。

予算審議 西原町・北山町に「まちづくり協議会」を

3月9日の予算委員会、防災密集地対策と市街地整備計画事業に関連して質疑を行いました。

平成29年7月、府中市は西原町と北山町の住民を対象に「まちづくりに関するアンケート調査」を行いました。調査結果報告とその後の話し合いなどがあったかを尋ねました。

市は「平成29年11月に2町にある自治会の会長に対して調査結果報告会を開催した。翌12月には対象地区の住民に『まちづくりニュース』を配布し、調査結果を公表してきた。平成30年2月には、今後のまちづくりの進め方を具体的に話し合うために、まちづくり勉強会を実施した」と答弁がありました。

続いて、平成30年度の2町のまちづくりに関する事業予定を尋ねました。市からは「地域の意

向を確認しながら、夏頃までに『まちづくり協議会』を立ち上げ、全体会を開催したい。また、地域ごとに課題が異なるため、協議会内に複数の部会を設置し、地域の皆様の意見を伺いながら、ルールなどを検討したい」との答弁がありました。

私は「今後、2町は都市計画道路3・2・2の2号線や、3・4・5号線などの事業も進み、町が変貌してきているので、地域の想いを受け止め、まちづくり協議会の設立に向けて、市民協働によるまちづくりを進めていただきたい」と要望しました。

